



80th Anniversary

未来に希望がもてるまち

舞鶴



2023 舞鶴市市制施行 80 周年記念誌

市制施行80周年記念誌の発刊によせて



舞鶴市長
鴨田秋津

舞鶴市は、昭和18年5月27日に、当時の舞鶴市と東舞鶴市が合併し、現在の舞鶴市が誕生いたしました。

苛烈を極めた戦争、そして、終戦直後の疲弊と混乱の中、本市は大変困難な状況での船出を迎えましたが、その後、引揚港として、13年間にわたり約66万人の引揚者を温かく迎え入れ、また、昭和25年には、平和産業港湾都市への転換を目指す旧軍港市転換法が制定され、再生復興への道を歩みはじめました。

以来、幾多の自然災害をは

じめ、多くの試練に見舞われながら、それらを懸命に乗り越え、都市基盤の整備や、港を中心とした地域産業の発展、高速道路網をはじめとする交通ネットワークの充実により、市民生活の向上が図られ、今日の平和で豊かな「舞鶴市」が築き上げられました。

令和5年、市制施行80周年という記念すべき年を迎えまして、これまでまちの発展に懸命に尽くしてこられた先人たちの情熱とたゆみない努力に改めて思いを馳せるとともに、深甚なる敬意と謝意を表

します。

こうした歴史を歩んできたなかで、今日、少子高齢化と人口減少が急速に進展し、不安定化する世界情勢が産業や市民生活にも大きな影響を及ぼすなど、我が国、そして本市を取り巻く環境は複雑化しており、私たちの目の前には大きな課題がいくつも立ちま

だかっています。

しかしながら、このような時にこそ、先人たちの歩みに学び、かつ、時代の変化を的確に捉えながら、市民と行政とが力を合わせて課題の一つ

一つに立ち向かい、誇れるふるさと舞鶴を次世代に確実に継承していくことが、我々に課せられた責務であると強く感じています。

この舞鶴市には、豊かな自然や個性ある歴史・文化、豊富な農林水産物など、素晴らしい地域資源が数多くあります。これら地域資源を最大限に活かしながら、住み続けたいまち、戻ってきたいまち、住んでみたいいまちを実現するとともに、地域を支え、まちで活躍する元気な若い世代を育み、地域経済の力強い回復につながる「地域で循環する社会の構築」を推し進めてまいります。

そして、未来に希望がもてる活力あるまちの実現をめざし、市民の皆さまと対話しながら一緒にあって、新たな時代にふさわしい舞鶴市の創造に取り組んでまいります。

目次

市制施行 80 周年記念事業 P4

記念式典
田辺城まつり
NHK 交響楽団舞鶴特別演奏会
NHK のど自慢
海上自衛隊ファミリーコンサート
夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会
みなと舞鶴ちゃった花火大会
田辺籠城戦国まつり
「艦これ」公式コラボイベント
海上保安庁音楽隊×海上自衛隊舞鶴音楽隊
ジョイントコンサート
まいづる市民第九演奏会
舞鶴赤れんがハーフマラソン

80 年の歩み（年表） P10

市政のトピックス（平成 26 年以降）

港湾	P16
交通	P22
国際交流	P28
引き揚げ	P34
文化・スポーツ	P38
子育て・教育	P48
地域経済・産業	P54
地域医療・福祉	P60
防災・危機管理	P66
SDGs	P72

ズルいい舞鶴

名所	P74
名産品	P76
伝統芸能・行事	P78
ズルいんすた	P82

未来に希望がもてる活力ある
まち・舞鶴をめざして P86



4



6



5



1

舞鶴市市制施行80周年記念式典

市制施行 80 周年 記念事業

市制 80 周年をお祝いするため、さまざまな事業が行われました。まつりやスポーツ、イベントなどに、たくさんの方が参加して盛り上がりました。

7-9. 田辺城まつり：4年ぶりに盛大に開催。古今伝授の芝居や武者行列などが行われました。



8



7



9

舞鶴市市制施行80周年記念式典

2

1-6. 市制施行 80 周年記念式典：箏アンサンブル斗為市の演奏で開式し、鴨田市長の式辞、上羽市議会議長の挨拶、来賓祝辞と続き、長年本市の発展に功績のあった個人 11 人と 15 団体を市制施行 80 周年記念功績者として表彰。表彰後には、LA CLASSIC によるパフォーマンス、舞鶴市文化親善大使の田中彩子氏へのインタビュー、舞鶴子どもコーラスの合唱が披露されました。



3



18. 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会：市民 450 人が参加し、その様子がNHKラジオ第一で生放送されました。19. みなと舞鶴ちゃった花火大会：約 4,000 発の花火が舞鶴の夜空を彩りました。



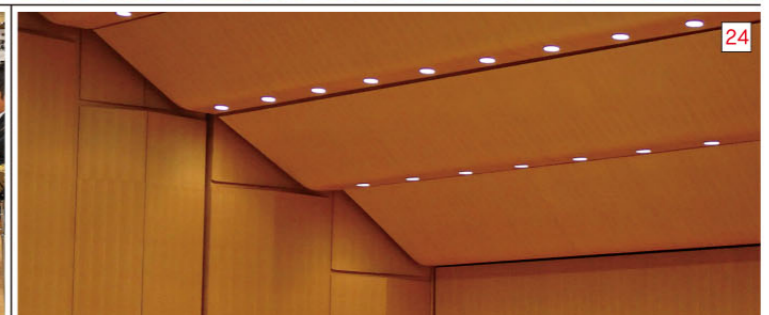
10-11.NHK 交響楽団舞鶴特別演奏会：ハイドンやモーツァルト、ベートーヴェンの名曲が優雅に演奏されました。12-14. NHKのど自慢：前日の予選を勝ち抜いた計 20 組が出場し熱唱しました。15-17. 海上自衛隊ファミリーコンサート：海の絆やロッキーのテーマ、星に願いをなどが演奏されました。



27. まいづる市民第九演奏会：285人の市民合唱団と日本を代表するアーティストが共演し、演奏会が行われました。28-31. 舞鶴赤れんがハーフマラソン：赤れんがパークをスタート・ゴールとし、海上自衛隊のヘリ基地や護衛艦が停泊する自衛隊棧橋を走り抜けるコースを2,303人のランナーが駆け抜けました（2kmの部は362人が参加）。



20. 田辺籠城戦国まつり：関ヶ原の戦いの前哨戦として知られる「田辺籠城戦」を再現したチャンバラ合戦などが行われました。21-23 ((C)D/C2/K)。「艦これ」公式コラボイベント：「艦これ」公式ガールズバンド「C2機関1MYB」によるライブや「艦娘音頭大会」などが実施され、延べ約16,000人が舞鶴を訪れました。24-26. 海上保安庁音楽隊×海上自衛隊舞鶴音楽隊 ジョイントコンサート：GUARDIANS OF THE WAVESや海の絆、組曲「宇宙戦艦ヤマト」などが演奏されました。



舞鶴市 80年の歩み

昭和18年

●舞鶴市と東舞鶴市が合併し、舞鶴市が誕生。人口86,051人(推計)、市域面積234.6km²。

昭和19年

●市徽章を制定。

●家屋の強制疎開を実施。米軍が舞鶴軍港とその周辺を空襲。終戦。浮島丸事件。舞鶴港が引揚港に指定され、引揚第一船(雲仙丸)入港。旧海軍から上水道施設を引き継ぎ給水開始。舞鶴共済病院が開院。国立舞鶴病院(現・舞鶴医療センター)が開院。

昭和21年

●舞鶴引揚援護局が開庁。飯野産業(株)舞鶴造船所が設立。舞鶴商工会議所が設立。

昭和22年

●新学制が実施され、市内に小学校21校、中学校14校新設。舞鶴海洋气象台が設置。国保八雲病院が開院。舞鶴市民の歌制定。舞鶴市民病院を開院。

昭和23年

●自治体消防として市消防局が発足。新制高等学校が発足、2校に再編成。市内中学校を6校に再編成決定。舞鶴(第八管区)海上保安本部が開庁。舞鶴港が特定港に指定される。



市役所庁舎 昭和20年代



舞鶴引揚援護局 昭和21年開庁



市民病院 昭和22年開院



開校当時の海上保安学校 昭和26年頃



台風13号で壊れた万代橋 昭和28年



加佐町合併を祝った平野屋通りパレード 昭和32年

昭和34年

●加佐公民館を設置。上福井浄水場が完成。台風15号(伊勢湾台風)で被害。



伊勢湾台風で浸水した岡田郵便局 昭和34年



建設中の舞鶴工業高等専門学校 昭和40年

昭和37年

●市が財政再建を完遂。

昭和38年

●市役所庁舎(本館)が完成。

昭和39年

●与保呂浄水場が完成。

昭和40年

●国立舞鶴工業高等専門学校が開校。松ヶ崎終末処理場が完成。

昭和41年

●市民プール完成。

昭和42年

●東乳児保育所を設置。

昭和43年

●第4ふ頭の使用開始。市民会館が完成。

昭和44年

●公共下水道の使用開始。

昭和45年

●引揚記念公園が完成。舞鶴・小樽間高速フェリー航路開設。市総合計画を策定。

昭和46年

●市史編さんの取組みがスタート。舞鶴自治連・区長連協議会結成。

昭和47年

●京都大学農学部付属水産実験所(現・京都大学フィールド科学教育研究センター)舞鶴水産実験所開設。台風20号による甚大な被害。国鉄中舞鶴線が廃止。清掃工場が操業開始。

昭和48年

●新相生橋が開通。

昭和49年

●市体育館(現・東体育館)が完成。舞鶴港湾合同庁舎が完成。倉梯第二小学校が開校。

昭和50年

●市総合計画の一部を見直し(第2次)。南乳児保育所を設置。舞鶴ソ連・ワニノ間の日ソ定期航路開設。郷土資料館が開館。第3ふ頭の使用が始まる。



市庁舎竣工式典 昭和38年



ナホトカ市と姉妹都市を提携 昭和36年



引揚記念公園・除幕式 昭和45年



舞鶴・小樽港にすずらん丸が就航 昭和45年



第1回ちやったまつり 昭和51年



日ソ定期配船始まる 昭和50年

昭和24年

●東、中保育所を設置。

昭和25年

●舞鶴市の東、西分離で住民投票。東・中(現・中央公民館)・西公民館を設置。旧軍港市転換法が公布、平和産業港湾都市として再出発。府議会で東、西分離の提案を否決。

昭和26年

●舞鶴港が重要港湾に指定。市内小学校が完全給食を実施。海上保安学校が開校。

昭和27年

●海上警備隊(現・海上自衛隊)舞鶴地方総監部が開庁。日本板硝子(株)舞鶴工場操業開始。

昭和28年

●府舞鶴事務局(現・中丹広域振興局等)が設置。舞鶴赤十字病院が開院。大川橋が完成。府道小倉西舞鶴線が開通。台風13号で大惨禍。

昭和29年

●倉梯公民館(現・南公民館)を設置。舞鶴市警が廃止となり、京都府舞鶴西警察署、同東警察署が設置。新榎トンネル(現・五老トンネル)が開通。

昭和30年

●万代橋が完成。

昭和31年

●青葉トンネルが開通。市が財政再建団体に指定。

昭和32年

●加佐町を編入。人口102,588人(府告示)、面積340.3km²。

昭和33年

●舞鶴港が日ソ定期航路の寄港地に指定。引揚最終船(白山丸)入港。舞鶴引揚援護局が閉局。

昭和51年

●舞鶴球場が完成。第1回ちやったまつり開催。燃えないごみの分別収集を開始。舞鶴港木材団地が完成。

昭和52年

●休日急病診療所を開設。

昭和53年

●市が特定不況地域に指定。

昭和54年

●府立舞鶴養護学校が開校。府立舞鶴こども療育センターが開設。国道27号の新相生橋、市役所間の4車線化工事完成。市公設地方卸売市場が完成。

昭和55年 ●滝ヶ下埋立処理場が完成。文庫山学園を開設。

昭和56年 ●新総合計画(第3次)を策定。京都職業訓練短期大学校(現・京都職業能力短期大学校)が開校。青葉山ろく公園を開設。市都市計画を決定。

昭和57年 ●中国・大連市と友好都市提携。身体障害者福祉センターを設置。自然休養村管理センター「大浦ハイランド」を設置。

昭和58年 ●若浦中学校が開校。総合文化会館が完成。市の木「ケヤキ」、市の花「ツツジ」が決定。

昭和59年 ●舞鶴港が日中貿易の基本港に指定。積雪量83cmを記録。

昭和60年 ●養護老人ホーム「安岡園」が開園。海外引揚40周年記念「引揚港まいづるを偲ぶ全国の集い」を開催。近畿郵政局による観光地選定事業により「五老岳からの舞鶴湾」が近畿百景の一位に選定。

昭和61年 ●舞鶴西総合会館が完成。西港第2ふ頭拡張工事が完成。舞鶴文化公園体育館が完成。日中貿易に舞鶴・新潟・清津港を結ぶ日本海航路が開設。

昭和62年 ●大浦小学校が開校。前島ふ頭の北工区が完成。ポルトフェアまいづるを開催。

昭和63年 ●引揚記念館が開館。京都国体で漕艇・バレーボール・高校野球(軟式)競技を開催。

平成8年 ●舞鶴市水洗化総合計画を策定。JR東舞鶴駅付近の鉄道高架化・新東舞鶴駅が完成。大浦会館が完成。

平成9年 ●インターネットに舞鶴市ホームページを開設。「舞鶴21ビル」が完成。舞鶴港とれとれセンターがオープン。舞鶴火力発電所建設工事が本格着工。高校総体で漕艇・女子バレー競技が開催。

平成10年 ●京都縦貫自動車道の綾部IC〜舞鶴大江IC間が開通。舞鶴自動車道(舞鶴若狭自動車道)の舞鶴西IC〜舞鶴東IC間が開通。浦入遺跡から国内最古最大級の丸木舟が出土。リサイクルプラザが完成。不燃ごみ6種9分別収集開始。商工観光センターが完成。英国ポーツマス市と姉妹都市提携。

平成11年 ●JR舞鶴線電化開業と西駅交流センターが完成。舞鶴クレインブリッジを含む市道大波下浦入線が開通。大連・青島(中国)との定期航路が開設。

平成12年 ●成生岬で国内最大級のスタジイ巨木を確認(幹周り13・8m)。積雪量78cmを記録。戸籍電算化スタート。市情報公開条例が施行。天皇后両陛下が舞鶴を訪問。

平成13年 ●新しい総合計画(第5次)スタート。中総合会館が完成。海上自衛隊舞鶴飛行場が完成。



大連市と友好都市を提携 昭和57年



引揚記念館オープン 昭和63年



京都国体 昭和63年



西港に多目的クレーン完成 平成元年



新東舞鶴駅が完成 平成8年



浦入遺跡から国内最古最大級の丸木舟が出土 平成10年



ポーツマス市と姉妹都市を提携 平成10年



舞鶴線電化出発式 平成11年



KTR 開業式 平成2年



舞鶴自動車道が舞鶴西ICまで開通 平成3年



赤れんが博物館オープン 平成5年



田辺城まつり 平成4年



スタジイの巨木を確認 平成12年



天皇后両陛下のご訪問 平成12年



台風23号で甚大な被害 平成16年



山口有希選手がアテネオリンピックで4位入賞 平成16年

平成元年 ●西港に多目的クレーンが完成。地名誕生120周年行事を開催。斎場が完成。東図書館が開館。

平成2年 ●西図書館が開館。文化公園プールがオープン。市議会が「核兵器廃絶・平和都市」宣言。釜山〜舞鶴間の定期航路が開設。JR宮津線が北近畿タンゴ鉄道宮津線として運行。

平成3年 ●舞鶴自動車道(現・舞鶴若狭自動車道)が舞鶴西ICまで開通。第4次総合計画スタート。環日本海フォーラムin M A I Z U R U を開催。東舞鶴〜品川間の高速バスが運行開始。

平成4年 ●田辺城門(資料館)が完成。東駅周辺区画整理事業起工式を開催。

平成5年 ●インターナショナルバイアスロン大会を開催。清掃工場改築工事が完了し清掃事務所へ改称。赤れんが博物館が開館。住民基本台帳システムなど行政事務を電算化。

平成6年 ●舞鶴港がFAZの計画策定地域に決定。市政記念館が開館。引揚平棧橋を復元。西浄化センター第一期工事が完成。五老スカイタワーが完成。舞鶴市戦後50周年記念事業を開催。舞鶴港FAZの第三セクター(株)舞鶴21が設立。喜多埠頭が全面供用開始。道芝トンネルが完成。国保八雲病院が閉院し、市民病院加佐診療所が開所。

平成7年 ●西浄化センター第一期工事が完成。五老スカイタワーが完成。舞鶴市戦後50周年記念事業を開催。舞鶴港FAZの第三セクター(株)舞鶴21が設立。喜多埠頭が全面供用開始。道芝トンネルが完成。国保八雲病院が閉院し、市民病院加佐診療所が開所。

平成14年 ●「舞鶴自動車道」の名称が「舞鶴若狭自動車道」に変更。舞鶴港とれとれセンターが道の駅に登録。

平成15年 ●舞鶴若狭自動車道の舞鶴東IC〜小浜西IC間が開通。京都縦貫自動車道の舞鶴大江IC〜宮津天橋立IC間が開通。JR小浜線(東舞鶴駅〜敦賀駅)が電化開業。西市民プラザが完成。旧海軍の水道施設が国の重要文化財に指定。

平成16年 ●城南会館が完成。山口有希選手がアテネ五輪で4位入賞。防災センターが完成。舞鶴親海公園が完成。舞鶴発電所1号機が稼働。台風23号襲来、豪雨、暴風で甚大な被害。

平成17年 ●大庄屋上野家がオープン。可燃ごみの有料化を開始。海外引揚60周年記念式典を開催。京都府立舞鶴養護学校(舞鶴支援学校)が開校。

平成18年 ●農業公園「舞鶴ふるるファーム」が開園。全国高等学校総合文化祭「京都総文」が府内10市町で開催。

平成19年 ●まいづる智恵蔵が開館。竜宮浜「ととのいえ」が完成。加佐町合併50周年記念式典を開催。ケンコーマヨネーズ(株)西日本工場が操業開始。ダイワボウマテリアルズ舞鶴工場火災。

平成20年

●齋藤里香選手が北京五輪で8位入賞。赤れんが倉庫群が国の重要文化財に指定。平成の名水百選に「天杉の清水」と「真名井の清水」が認定。引揚最終船入港50周年、引揚記念館開館20周年記念行事を開催。ポーツマス市との姉妹都市提携10周年記念事業を開催。東体育館がリニューアルオープン。



新南極観測船「しらせ」が就役
平成21年

平成21年

●舞鶴で建造の新南極観測船「しらせ」が完成。新大川橋・バイパス道路が開通。東駅周辺土地区画整理事業が完了。



舞鶴国際ふ頭完成
平成22年

平成22年

●舞鶴発電所が完成し2号機が供用開始。細川幽齋公没後400周年記念行事を開催。



海フェスタ京都開催
平成26年

平成23年

●新たな舞鶴市総合計画(第6次)を策定。

平成27年

●東地区の保育所を統合し、うみべのもり保育所を開所。子育て交流施設「あそびあむ」がオープン。舞鶴YMCA国際福祉専門学校が開校。高浜発電所に係る舞鶴地域の安全確保等に関する覚書を締結(府・市・関西電力)。京都縦貫自動車道全線開通(京丹波和知IC〜丹波IC)。総合文化会館がリニューアルオープン。全国高校総体レスリング競技大会が開催。引揚記念館がリニューアルオープン。引揚記念館収蔵資料がユネスコ世界記憶遺産に登録。休日急病診療所が行永に移転開設。北近畿タンゴ鉄道から京都丹後鉄道に名称変更。

平成24年

●新たな中丹地域医療再生計画を国が承認。舞鶴赤れんがパークがグランドオープン。大連市友好都市提携30周年、「日中友好の翼」派遣。白糸中学校の新校舎が完成。観測史上最高の87cmの積雪。



大雪で観測史上最高の87センチ
平成24年

平成25年

●KTR新型車両あかまつ、あおまつが運行。大型クルーズ客船サン・プリンセスが初入港。新たな由良川水系河川整備計画を策定。上田萌選手がデフリンピック卓球競技で金メダル。



赤れんがパークグランドオープン
平成24年



引揚記念館収蔵資料がユネスコ世界
記憶遺産に登録
平成27年

平成28年

●市民会館が閉館。北陸新幹線京都府北部ルート誘致促進同盟会が設立。城北・加佐地区で小中一貫教育がスタート。旧軍港四市の日本近代化のストーリーが日本遺産に認定。医療センターの新病棟が完成。全国茶品評会でかぶせ茶産地賞、舞鶴のお茶5年連続日本一に。東京五輪におけるウズベキスタンのホストタウンに。合計特殊出生率2.09%、府下一位に。



日本遺産に認定
平成28年

平成29年

●秋篠宮同妃両殿下が引揚記念館を訪問。大飯発電所に係る舞鶴地域の安全確保に関する通報連絡等協定書を締結(市・関電)。山陰新幹線京都府北部ルート誘致・鉄道高速化整備促進同盟会が設立。台風21号による甚大な浸水被害。「舞鶴の海軍施設と都市計画」が日本の20世紀遺産20選に選定。クルーズ客船入港回数が過去最高の39回。環境衛生プラントが完成。



クルーズ客船寄港最多の39回
平成29年

平成30年

●引揚記念館がグランドオープン。7月豪雨、甚大な被害。ポーツマス市姉妹都市提携20周年。10月7日を「舞鶴引き揚げの日」とする条例制定。舞鶴共済病院に内視鏡手術支援用ロボット「ダビンチ」が導入。全中学校区で小中一貫教育導入が導入。全中学校区で小中一貫教育導入が導入。全中学校区で小中一貫教育導入が導入。全中学校区で小中一貫教育導入が導入。



7月豪雨で甚大な被害
平成30年

令和元年

●第7次舞鶴市総合計画を策定。舞鶴幼稚園と西乳児保育所を統合し、市内初となる市立認定こども園を開園。高野川治水対策が全国のモデル事業に選定。コンテナ取扱量が過去最大19,812TEU。内閣府よりSDGs未来都市に選定。自治体SDGsモデル事業に選定。不燃ごみ7種9分別へ移行。ウズベキスタン共和国リシタン地方と人材育成交流に関する覚書交換。



市認定こども園を開園
令和元年



小倉西舞鶴線新白鳥トンネル貫通
令和5年

令和4年

●新型コロナウイルス感染者数本市一日最多211人が確認。由良川緊急治水対策が完成。

令和5年

●小倉西舞鶴線新白鳥トンネルが貫通。市制施行80周年記念式典を開催。舞鶴赤十字病院に人工関節手術支援ロボットが導入。観測史上最高の39.0度を記録。台風7号による甚大な被害。

令和2年

●JMU商船建造事業の撤退が決定。新型コロナウイルス感染症蔓延、7月本市で初めて確認。日本海側初の長距離フェリーが就航50周年。待機児童が本市で初めて発生。農林・水産業への先端技術導入。共助による移動手段(memo)導入に係る実証実験を開始。医師会館が移転整備。

令和3年

●舞鶴若狭自動車道舞鶴西IC〜福知山IC間が4車線化。ギガスクール構想で小中学生1人1台タブレット配布と「舞ラーニング」を推進。舞鶴方式で新型コロナウイルスの集団接種開始。多世代交流施設「まなびあむ」がオープン。東京五輪ウズベキスタン柔道代表選手団を受け入れ。文化親善大使に世界的ソプラノ歌手田中彩子氏が就任。舞鶴海軍鎮守府開庁120周年で記念事業を開催。京都府立大学まいづる赤れんがオフィスが開設。舞鶴国際ふ頭第二バース整備と第二期工事が着手。不燃ごみの有料化を開始。

令和3年

●新型コロナウイルス集団接種開始。多世代交流施設「まなびあむ」がオープン。東京五輪ウズベキスタン柔道代表選手団を受け入れ。文化親善大使に世界的ソプラノ歌手田中彩子氏が就任。舞鶴海軍鎮守府開庁120周年で記念事業を開催。京都府立大学まいづる赤れんがオフィスが開設。舞鶴国際ふ頭第二バース整備と第二期工事が着手。不燃ごみの有料化を開始。

令和4年

●新型コロナウイルス感染者数本市一日最多211人が確認。由良川緊急治水対策が完成。

令和5年

●小倉西舞鶴線新白鳥トンネルが貫通。市制施行80周年記念式典を開催。舞鶴赤十字病院に人工関節手術支援ロボットが導入。観測史上最高の39.0度を記録。台風7号による甚大な被害。